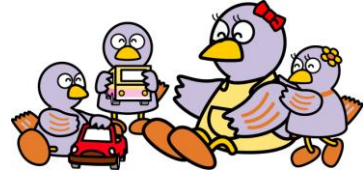


●これは、「埼玉県中学校教育課程指導実践事例集 平成24年3月」のP136～137を基に、加筆・修正して作成したものです。

幼児との触れ合い体験は、幼児への関心が高まり理解が深まる効果的な学習です。ここではゲストティーチャーを招いて専門的な話を聞き、視聴覚教材を活用するなどの学習方法で、幼児への関心を高めさせ、関わり方の工夫を考える授業の展開例をあげました。展開中の①から④は以下の【課題解決のための授業改善の視点】のそれぞれの取組であることを表します。

【課題解決のための授業改善の視点】

- ① 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動
- ② ゲストティーチャーを活用した指導と評価の工夫
- ③ 課題を解決するための言語活動の充実
- ④ 幼児への関心を高める工夫



【本時の目標】

幼児にとっての遊びの意義を理解し、幼児の心身の発達に応じた関わり方の工夫を考える。〈生活を工夫し創造する能力〉

学習過程	生徒の活動	時間	教師の働きかけ	評価と指導の工夫〈評価の観点〉(評価方法)	資料等
				※指導の工夫 ◇評価 ☆B→Aへの手立て △C→Bへの手立て ◎学力向上プランとの関連 ★教育に関する3つの達成目標との関連	
学習課題への意欲付け	・幼児との触れ合い体験での幼児との関わり方を考える。 ・学習課題を知る。	5' / 2'	・前時に学んだ内容だけで幼児との触れ合い体験が十分できるか投げかけ、本時の学習に対する生徒の課題意識を高める。	※本時のねらいに沿った展開ができるよう、ゲストティーチャーとは入念な打ち合わせをしておく。	ワークシート
	学習課題：幼児のかかわり方を工夫しよう			ゲストティーチャーと本時の学習の目標や内容について、十分な打合せを行います。②	
	学習課題を提示して、本時の学習の見通しをもたせます。①			前時に優れた活動をした生徒の様子を取り上げ、学習意欲を高めます。④	
課題発見と解決	・写真やVTRの視聴等から、幼児の生活を知る。(幼稚園や保育所の施設・行事など)(幼稚園や保育所の一日の生活や遊び) ・ゲストティーチャーによる絵本の読み聞かせを観察する。	18' / 5'	・写真やVTRなどを提示しながら、幼児にとっての遊びの意義に気付かせる。 ・VTR視聴や読み聞かせの視点について、生徒の実態に応じて補足・説明しながら提示する。 視点 <先生の表情・姿勢> <先生の幼児への働きかけ> <幼児の気持ち・様子> ・読み聞かせの中で、幼児との関わり方の工夫に気付かせる。(手遊びや読み方など)	※幼児との関わり方の工夫について、はじめから全て教えるのではなく、「教えること」、「生徒自身に気付かせること」をあらかじめ決めておく。	写真、VTRなど
	生徒自身の気づきの質を高めるために、あらかじめ観察等の視点を示しておきます。①②			《写真やVTRの内容》 ・幼稚園の生活や遊びの様子 ・幼児の気持ちが出ている表情や態度、会話 ・生活習慣を身に付けさせる工夫	
	・幼児の心身の発達に応じた関わり方の工夫についてワークシートにまとめる。	10'	・観察の視点ごとに関わり方の工夫を書きとめることができるよう、ワークシートの形式を工夫する。	◎自分の考えた工夫について、先生や友だちが理解しやすい言葉で表現する。	絵本、紙芝居など
	自力解決のために、ワークシートの構成を生徒がまとめやすく工夫することで、言語活動の充実につながります。③			写真やVTRなどの視聴覚機器を効果的に活用することで、生徒の学習意欲が高まります。VTRの内容についてもゲストティーチャーと打合せを行っておきます。②④	

◇幼児の心身の発達に応じた関わり方についての工夫を考えている。 <工夫・創造> (ワークシート) ☆B→Aへの手立て…実際の幼児との触れ合い体験で役立つように、より具体的な関わり方の工夫ができないか考えるようアドバイスする。 △C→Bへの手立て…写真やVTRに出てきた場面、読み聞かせの様子を想起させ、幼稚園の先生の言動や幼児の実態から工夫を考えるようアドバイスする。				
		ゲストティーチャーと打合せを行い、共通理解をもとにアドバイスができるようにします。 ②	ワークシートへの記入ができる生徒、できない生徒に対する具体的な支援の手立てを、あらかじめ用意しておきます。 ②	評価が、本時の目標に即したものになることが大切です。 ②
・グループで発表し合い、関わり方の工夫について話し合う。 20'	・幼稚園の先生や教師から各グループに適宜アドバイスをする。		★先生の話や友だちの発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる。	
・グループでの話し合いをもとに、各グループの代表生徒が発表する。 15'	・キーワードを黒板に整理する。		[予想される生徒の反応] ○笑顔で話しかけてみよう。 ○幼児と目の高さを揃えて話したらどうかな。 ○手遊びをもっと取り入れてみよう。 ○手作りおもちゃを作って、楽しんでもらおう。 ○優しい言葉かけて、こんな風にしたらいいなかな。	
		生徒の発表の中のキーワードを大切に、実感をもって理解させることが大切です。 ③		
・自分たちの考えた関わり方の工夫について、ゲストティーチャーから意見を聞く。 20'		考えた工夫について、ゲストティーチャーが共感的に話をする場面を設けることで、今後の活動に対する意欲を高めます。 ②		
・再度VTRを視聴し、ゲストティーチャーから説明を聞く。	・幼児にとっての遊びの意義や幼児への働きかけの意図について説明する。		※生徒の学びが確かなものになるよう、発表の中で出なかった点を補足したり、優れた生徒の気付きを称賛したりする。	VTR
・本時の学習を振り返る。 5'		2時間の授業を振り返り、「気付いたこと」「考えたこと」などを生徒自身の言葉で表現できるようにします。 ① ③		
・次時の学習内容を知る。				

【板書計画】

発表場面では、グループでまとめた内容を掲示するなどして、生徒の意欲を高めます。 ④

幼児とのかかわり方を工夫しよう		かかわり方の工夫を発表しよう	
本時の学習の流れ 1 2 3 4 5 . .	幼児の一日の生活や遊びに関連する絵や写真を掲示する	① 生徒の発表	② 生徒の発表
	先生の表情・姿勢	③ 生徒の発表	④ 生徒の発表
	幼児の気持ち・様子	⑤ 生徒の発表	⑥ 生徒の発表
	先生の幼児への働きかけ	⑦ 生徒の発表	⑧ 生徒の発表
	まとめ ○笑顔 ○目線 ○手遊び ○手作りおもちゃ ○優しい言葉かけ		

板書には、生徒に見通しをもたせたり、授業を振り返らせたりする機能があります。生徒の反応を予想した上で、事前にしっかりと計画することが大切です。 ①

参考 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(文部科学省)
 埼玉県中学校教育課程評価資料(埼玉県教育委員会)
 埼玉県中学校教育課程指導実践事例集(埼玉県教育委員会)
 言語活動の充実に関する指導事例集(文部科学省)